

おだがいさま

odagaisama

第48号
平成25年
9月1日発行

おばあちゃんすんげのう!

次まんなが入れでの がんばって〜♪



羽黒福祉センターでは、平成23年度から地区公民館と連携を図りながら福祉学習を行っています。

7月17日に羽黒四小地区公民館を会場に、羽黒第四小学校の1・2年生6人が地域の方々と輪投げやお菓子作りなどをしながら「わくわく交流会」を行いました。

輪投げの上手な「達人」の皆さんにより、子どもたちが輪投げの「コツ」を教えてもらいながら、世代を超えたチーム対抗「輪投げゲーム」で真剣勝負!! 子どもたちの応援にも力が入る明るく賑やかな交流となりました。

見守り活動近況報告

地域はそれぞれが、みな「個性的」 地域に合った取り組み方で「地域力UP」

地域の中で多くの住民が、かわりやつながりを築いていく「見守り活動」は、地域「コミュニティ」の希薄化を抑止するばかりでなく、災害時など「いざ」という時の助け合いにも、その効果を発揮します。

見守り活動については、これまで何度かご紹介してきましたが、地域それぞれの個性にあった取り組み方で、現在も進められています。こうした「地域性」に注目し、その一部をご紹介します。



けることにより、住民同士の支え合いの意識づくりと住民主体による安心と安全な地域づくりを目的としています。

これは、住民の方が外から確認しやす

今日も元気です

「黄色い旗運動実施中！」

～安心とつながりのある

地域をめざして～

◆朝日地域 上田沢集落

朝日地域、上田沢集落では、市社協が呼びかけているおだがいさまネット活動の一環として「おだがいさま黄色い旗運動」の取り組みをスタートしました。

この運動は、近所の見守りを地域全体で心が

い玄関などに、毎日朝から夕方まで、**今日も**元気で」の合図である黄色い旗を掲げ、もし旗が出ていない場合や夜になっても旗がしまわ

れていない場合に、気付いた方がその世帯を訪問し、声をかけて安否確認をしてもらおうという運動です。

上田沢集落では**全戸六十一軒が旗を設置し**、駐在員や、民生委員の方を中心として、「朝起きたらまず旗を出すこと」などを話し合いで決め、取り組んでいます。

住民の方の声は…

住民の方からは、「ここは日中、年寄り世帯が多いのでこの取り組みはいいのだの」「他の家の旗が気になって揚がっているか見るなやのう」「旗を通して前より声を掛けやすくなったなやの」「起きたら旗を出しに行く習慣づ



上田沢集落の住民の皆さん

けが大事だのう」という声がありました。上田沢集落では将来高齢者世帯が増加するなか、安否確認など、どのような仕組みづくりをしていくかについて話し合った結果、今回の取り組みへとつながりました。

朝日福祉センターでは、地域の皆さんの「地域の中で支え合ったために、いざというときたすい」という声に耳を傾け、おだがいさまのまちづくりを一緒に考え後押ししていきます。

見守り活動の応援団

「福祉協力員」

◆鶴岡地域 第一学区

市街地南部に位置し、旧城下町の職人町と新興住宅地で構成される第一学区。全二十七の町内会に、学区社協と町内会協議会が連名で「福祉協力員」を設置したのは平成八年四月のことです。設置当初は、学区社協の事業への協力が主な役割でしたが、近年、町内会ごとに特徴的な取り組みが行われるようになっていきます。

★実践事例① 本町二丁目南部町内会

「若い世代が少ない町内会だから、高齢者同士が助け合える関係をつくらないと…」そんな危機感から、「サロンみゆき」の活動が始められました。公民館がなく会場確保に苦労しまし



小学生ボランティアの受け入れにも協力している「サロンみゆき」

たが、毎月第二水曜日、地元の寿司店を会場に高齢者のサロン活動は、八年続けて行われています。福祉協力員の鈴木つや子さんは、「私

の役割は会費の集金くらい。あとは、参加者の皆さんが自分たちでやってくれるんです。」と話しています。昔からの顔馴染みが多い町内では、訪問ではなく、町内に集まりの場を作ることで見守り活動を実践しています。

★実践事例② 三光町東部町内会

「家の様子（郵便受けや点灯・消灯等）を気にかける見守りは、昔から町内会ぐるみで行ってきた。たったひとりの福祉協力員にできることは限られている。」



ひとり暮らし宅に声をかける福祉協力員の五十嵐さん

そう話すのは、四月から福祉協力員となった五十嵐恵美子さん。三光町東部町内会は、福祉協力員が町内会役員として位置づけられているため、サロンや見守り等の福祉協力員活動は町内会と一緒に進められています。

第一学区で高齢化が一番進んでいるこの町内では、冬になると、町内会役員が受け持ちの世帯を決め、除雪できない世帯の雪かきを行う活動にも取り組んでいます。

町内会を中心とすることで、多くの人が関わることのできる見守り活動が展開されています。

「配食サービス」でも

「見守り」実践

◆羽黒地域

羽黒地域では、九月～三月までひとり暮らし高齢者を対象に配食サービスが行われています。配達は平成四年度よりボランティアグループ「福寿草の会」から協力いただき、会の皆さんからは、**お弁当の配達だけでなく、安否確認を行いながら、顔見知りになり一人で暮らしている人達の心の支えになっていただいています。安心感を与えるとともに、時には話し相手になったりして交流もつまっています。お弁当を持つていくと「だんだん来る時間だから待つてだなやの」とうれしい声も聞かれます。また、年一回福寿草の会による**



今後の見守りにつながる交流会

会食交流会を開催しお互いの健康を確かめ合っています。

今後もお弁当だけでなく、安心とふれあいも届けていきます。

おだがいさまのまちづくりを目指して

「福祉のつどい」は、鶴岡市社会福祉協議会の基本理念である「おだがいさまのまちづくり」を進めていくために、市社協が果たす役割とその活動を広く知っていただくとともに、地域住民・団体・関係者などの協働を呼びかける機会とするために開催しています。

期 日 平成25年10月17日(木)

場 所 鶴岡市中央公民館

申込み 9月27日(金)まで

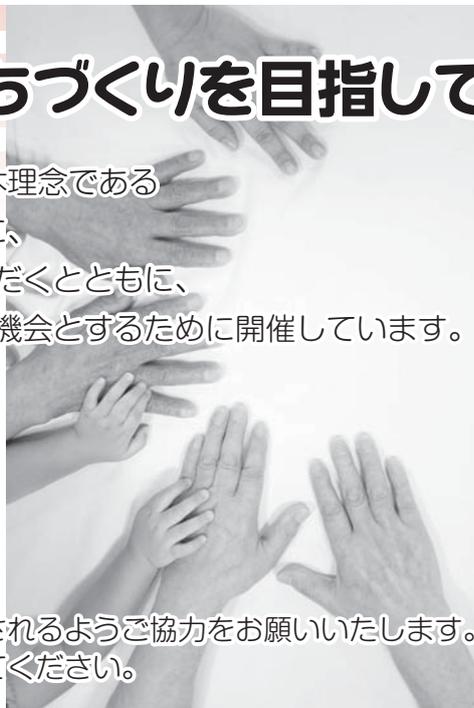
◆最寄りの福祉センターにお申し込みください。

※駐車場が限られていますので、乗り合わせて参加されるようご協力をお願いいたします。

なお、当日は駐車場誘導員の指示に従って駐車してください。

※当日は手話通訳・要約筆記がつかます。

※目の不自由な方で参加ご希望の方は、申し込みの際に申し付け下さい。



福祉の

日程

12:30	受付開始	
13:20	オープニング 開会行事 表彰 市社協の活動紹介	「かたぐるま」利用者による発表 福祉功労者へ感謝状などの贈呈 「おら家で暮らすお手伝い ～フクさんの権利擁護～」
	講演	演題 「コミュニティデザインについて」 講師 山崎 亮 (やまざきりょう) 氏 コミュニティデザイナー/studio-L代表 京都造形芸術大学教授 慶應義塾大学特別招聘教授
16:00	閉会	



1973年愛知県生まれ。大阪府立大学大学院および東京大学大学院修了。博士(工学)。建築・ランドスケープ設計事務所を経て、2005年にstudio-Lを設立。地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインに携わる。グッドデザイン賞など多数受賞。著書に「コミュニティデザイン(学芸出版社)」「コミュニティデザインの時代(中公新書)」など多数出版。現在、2014年4月からの東北芸術工科大学における全国初の「コミュニティデザイン学科」設立に携わる。学科長就任予定。

福祉施設製品などの展示・販売!

会場ロビーにおいて福祉施設の製品や作品の展示・販売もしています。

主催 社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会





じぶんの町をよくするしくみ 共同募金にご協力お願いします！

赤い羽根募金・歳末たすけあい募金

共同募金は、「心に赤い羽根のある人たち」
＝「いきいきとボランティア、地域福祉活動を頑張る人たち」を応援します。



運動期間
10月1日～12月31日
戸別募金お願い額
500円
(赤い羽根と歳末たすけあいを
合わせた額です)

皆様からお寄せいただきました募金は、山形県共同募金会を通じて、民間福祉施設やボランティア活動、市社会福祉協議会の地域福祉活動などに配分され、様々な活動や福祉教育など地域福祉推進のために役立てられます。

また、経済的に支援を必要とする世帯や児童養護施設の児童・生徒に義援金として配分される予定です。



地域・在宅福祉事業配分をご活用ください

- 対象者**：社会福祉法人、民間組織団体、ボランティア団体
- 対象事業**：平成26年度に行う事業で、先駆的な社会福祉活動及び活動の立ち上げの時期への支援
- 配分額**：上限30万円（総事業費の4分の3の額）
- 申込み**：平成25年10月25日(金)まで
- 問合せ**：山形県共同募金会鶴岡市支会
(鶴岡市社会福祉協議会内) ☎24-0053



情報掲示板

鶴亀番付についてのお知らせ

今年度も敬老の日に合わせて、長寿者へのお祝いと励みにしていただくことを目的に鶴亀番付(長寿番付)を発行いたします。

この鶴亀番付は例年、95歳以上の方を対象に掲載してまいりましたが、対象者の増加、用紙や文字の大きさなどを考慮し、平成24年度から毎年、対象年齢を1歳ずつ上げ、平成28年度からは100歳以上の方を対象に掲載していく方向で進めております。そのため、昨年度は96歳以上の方を対象として掲載いたしました。今年度は97歳以上の方を対象とさせていただきますので、皆様のご理解をお願いいたします。

これからも高齢者の方々のご長寿を心より願っております。

シルバー110番! 一人で悩んでいませんか?

◇一般相談

日常生活で心配なこと、困った事、来所・電話どちらでも、お気軽にご相談ください。

月曜日～金曜日(9:00～17:00)

*高齢者やご家族など。

◇専門相談(要予約)(13:30～16:00)

- ・法律相談(弁護士) 月曜日
- ・税金相談(税理士) 偶数月第1水曜日
- ・認知症相談(社会福祉士等) 火・金曜日

「認知症」の事で悩んでいませんか?

◇こんな時どうすればいいの?

- ・父が、母が、この頃、何だか以前と違う!
- ・介護に疲れた…。
- ・話を聞いてほしい。
- ・誰にも相談できない。



相談は無料です。秘密厳守。☎023-622-6511

山形県高齢者総合相談センター(山形県社会福祉協議会)
山形市小白川町2丁目3-30

平成26年度採用 鶴岡市社会福祉協議会 職員募集について

募集職種・受験資格	①社会福祉士/昭和43年4月2日から平成6年4月1日まで生まれ、社会福祉士資格を取得している方及び平成26年4月までに取得する見込みの方 ②精神保健福祉士/昭和43年4月2日から平成6年4月1日まで生まれ、精神保健福祉士資格を取得している方及び平成26年4月までに取得する見込みの方 ③介護福祉士/昭和43年4月2日から平成6年4月1日まで生まれ、介護福祉士資格を取得している方及び平成26年4月までに取得する見込みの方 ④理学療法士/昭和43年4月2日から平成6年4月1日まで生まれ、理学療法士資格を取得している方及び平成26年4月までに取得する見込みの方 ⑤作業療法士/昭和43年4月2日から平成6年4月1日まで生まれ、作業療法士資格を取得している方及び平成26年4月までに取得する見込みの方 ⑥介護支援専門員/昭和43年4月2日から平成6年4月1日まで生まれ、介護支援専門員資格を取得している方及び平成26年4月までに取得する見込みの方 ⑦看護師(准看護師を含む)/昭和43年4月2日から平成6年4月1日まで生まれ、看護師資格を取得している方及び平成26年4月までに取得する見込みの方 ⑧保育士/昭和43年4月2日から平成6年4月1日まで生まれ、保育士免許を取得している方及び平成26年4月までに取得する見込みの方
採用予定数	各資格若干名
採用時期	平成26年4月1日
試験期日	一次試験 筆記試験(教養試験) 平成25年10月20日(日) 二次試験 面接試験 平成25年11月下旬
募集受付	平成25年8月26日(月)～平成25年9月18日(水) 社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会 〒997-0033 鶴岡市泉町5番30号 鶴岡市総合保健福祉センターにこふる2階 TEL:0235(24)0053 鶴岡市社会福祉協議会事務局総務課に提出してください
試験案内・申込書等の交付	8月26日より、上記募集受付において、案内・交付します

ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます

(平成25年6月12日～8月9日までのご寄附を掲載しています)

★一般社会福祉事業へ

◎鶴岡福祉センターへ

・五十嵐 新一 様 10,000円

◎藤島福祉センターへ

・佐藤 清 様 30,000円

◎温海福祉センターへ

・伊藤 實 様 50,000円

・田川建設労働組合 温海分会 様 10,000円

◎朝日福祉センターへ

・あさひ駐在所連絡協議会 様 15,560円

★東日本大震災の避難者支援へ

・鹿兒島谷山ライオンズクラブ 様

・ボータブルナビゲーション、ボータブルコピー機

・出羽庄内国際村ワールドバザール実行委員会 様 10,500円

★温海デイサービスセンター愛寿園へ

・藤谷 春子 様 100,000円

・齋藤 敏子 様 10,000円

★高齢者福祉センターおおやまへ

・伊藤 俊次 様 吸引器、加湿器

★デイサービスセンターおおやまへ

・匿名 5,000円

★デイサービスセンターたかだてへ

・安達 皓 様 コピー用紙

★鶴岡市ゆうあいプラザ かたぐるまへ

・齋藤 一雄 様 専門書(2冊)

・安藤 和子 様 裁縫用布地各種

★もみじが丘へ

・ふるさと温海会 様 83,500円

おだがいさま

第48号

平成25年9月1日発行

発行部数 49,300部



編集・発行

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会

鶴岡市泉町5番30号(にこふる2階)

TEL 24-0053 FAX 23-9110

ホームページ <http://www.shk01.jp/>

鶴岡福祉センター TEL 24-0053

藤島福祉センター TEL 64-3100

羽黒福祉センター TEL 62-4534

鶴引福祉センター TEL 57-5300

朝日福祉センター TEL 53-2795

温海福祉センター TEL 43-2114

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。